

RCNP 研究会

「アイソスカラー型単極遷移で探る原子核の励起状態とクラスター構造」報告

開催期日: 2015 年 7 月 16 日(木)～ 17 日(金)

開催場所: RCNP 研究本館

web ページ: <http://www.rcnp.osaka-u.ac.jp/indico/event/832/>

予算使用用途: 参加者への旅費・滞在費補助(計 11 名) 300,000 円

会議内容

本提案の研究会では、アイソスカラー型単極遷移によって励起される原子核の励起状態、特にそのクラスター構造の研究に関して、関連する国内の実験、理論研究者が集まり議論を行った。テーマとして、

- － 安定/不安定核のクラスター状態と単極遷移
- － ガスのクラスター状態
- － 軽い核の超変形状態
- － 安定/不安定核の巨大単極共鳴

を中心としつつ、関連する話題も取り上げた。発表の件数は29件、参加者は約60名と当初の予定を超え、盛況であった。この数年間に為された安定核から不安定核に亘る様々な理論、実験研究の進展が数多く報告され、研究の現状がまとめられると同時に、今後の展望に関しても活発な議論が行われた。シニア・中堅の研究者だけでなく、若手研究者にとっても非常に有意義な研究会であったと言える。RCNP には会議の開催にあたり、予算補助や事務手続きなど、多大なる援助をいただいた。特に旅費補助によって多くの若手参加者を集めることができ、大変感謝する。

組織委員

井手口栄治(阪大)、伊藤誠(関西大)、稲倉恒法(京大)、上坂友洋(理研)、延與佳子(京大)、大津秀暁(理研)、川畑貴裕(京大)、木村真明(北大)、民井淳(阪大)、山田泰一(関東学院大)